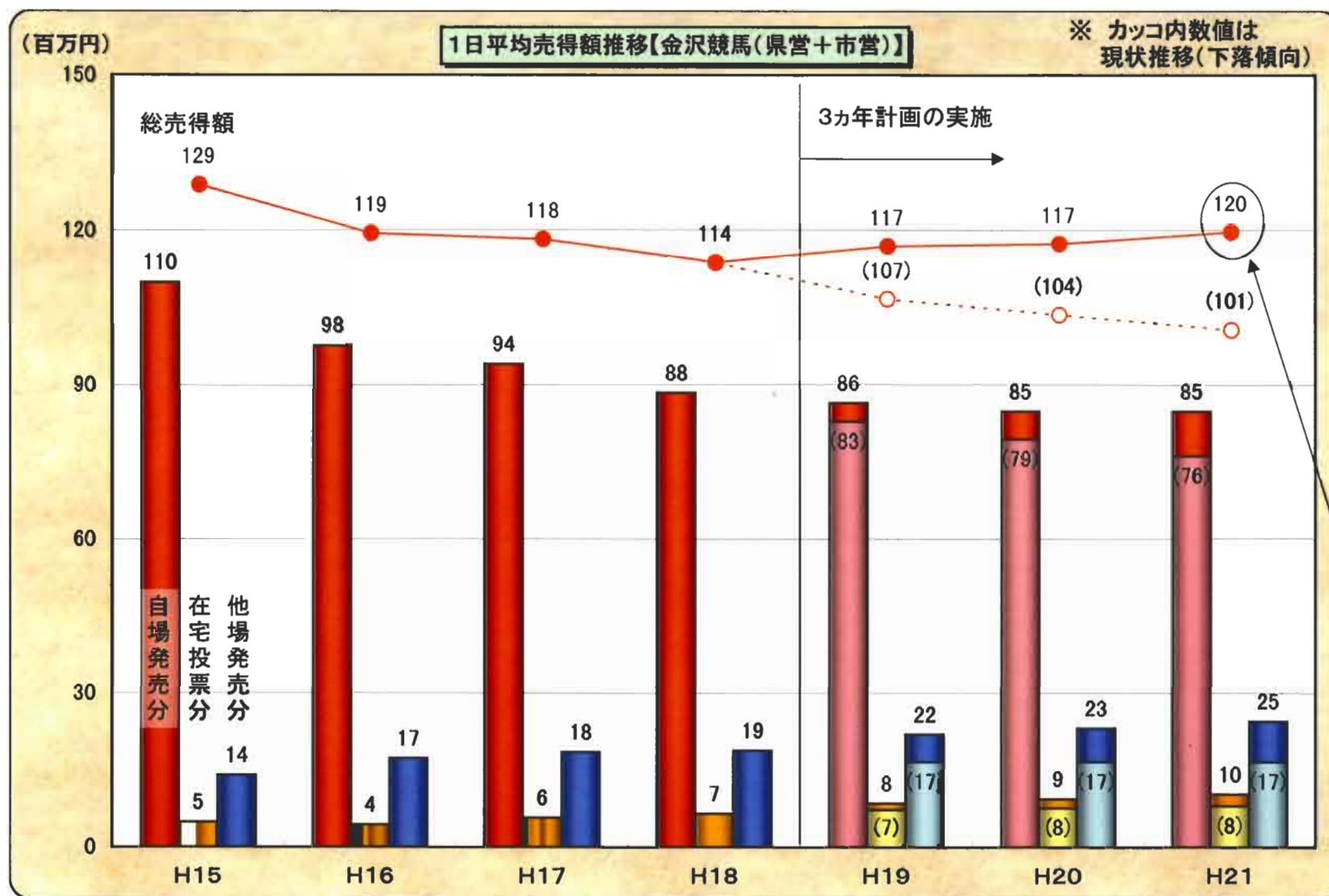


( H18. 12. 27 )



3カ年計画のポイント

◎ 歳入の考え方

【基本方針】  
理想は自場完結型 → 全国的に下落傾向が続いている中で困難

【自場発売分】短期的に下落傾向に歯止め

- 競走馬の出走頭数の確保(商品供給力)
- 販売促進策の強化による入場者の確保(すそ野拡大)

【在宅投票分】インターネット投票の多様化による増収(楽天の参入)

【他場発売分】東海地区との連携強化による増収

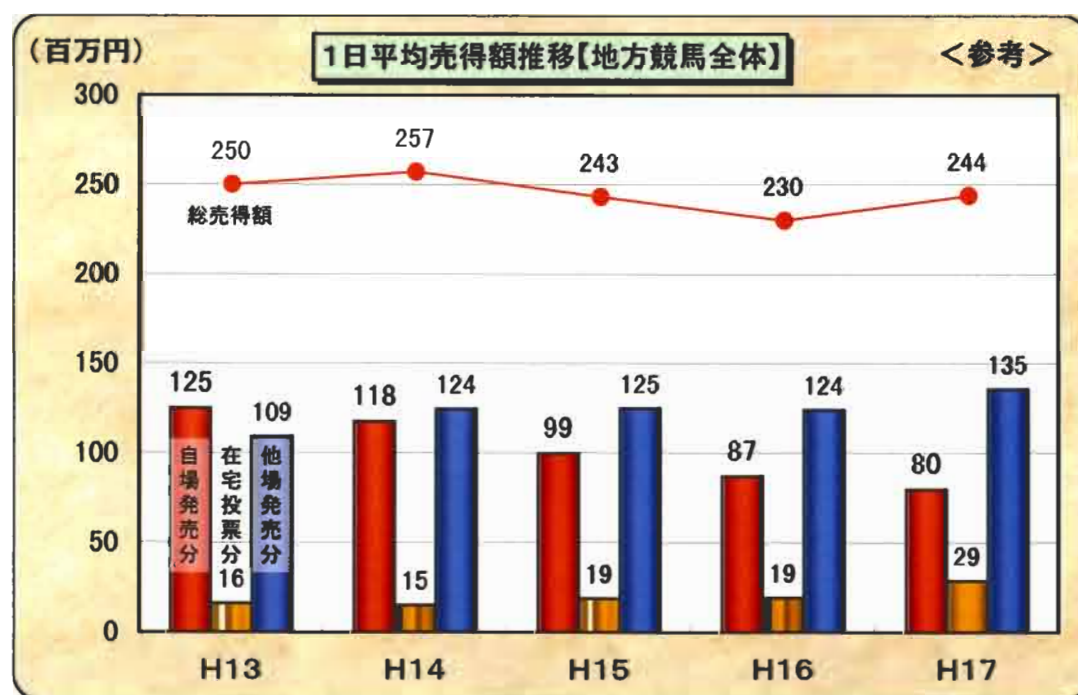
◎ 歳出の考え方

- 人件費を中心とした大幅な削減(職員数を3年間で7名削減)
- 報償費は水準を維持(出走頭数の確保、関係者のモチベーション向上)
- 広告宣伝部門の強化(選択と集中)

数値目標

期間内において、単年度収支の黒字化を達成するため、

- ① 期間の最終年度には、自場開催時において、1日あたり概ね、1億2,000万円以上の総売得額を確保すること  
ア 自場における売得額を 8,500万円以上  
イ 他場及び在宅投票による売得額を 3,500万円以上
- ② 黒字化に向けた更なる収入を確保するため、①に加え、他場開催分についても積極的に発売することとし、各場との連携強化を図ること
- ③ 民間活力の導入等によって、開催経費を可能な限り縮減すること
- ④ 馬券の多様な組み合わせと白熱した競馬が提供できるよう、1レースあたりの出走頭数を10頭以上確保すること



単年度収支(計画)

期間の最終年度(平成21年度)には、県営・市営とも黒字化を達成